

## 国民健康保険保健事業の取り組み状況について

### 1 令和6年度の取り組みについて

#### (1) 特定健診未受診者対策

##### 【概要】

今年度特定健診未受診者のうち、不定期受診者と未経験者について、それぞれに最も効果的と考えられる通知を7種類作成し、9月上旬に受診勧奨通知（はがき）を送付しました。

また、令和7年1月中旬には、9月上旬に送付した人のうち未受診者に、受診勧奨通知（はがき）を再度送付しました。

なお、過去3年間連続して健診を受診している人については、勧奨通知（はがき）を送付しませんでした。

##### 【実績】

グループ		通知送付者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B ÷ A)
連続健診受診者（過去3年間）		—	—	—
不定期受診者	頑張り屋さん	1,074人	601人	56.0%
	心配性さん	1,656人	862人	52.1%
	甘えん坊さん	1,754人	879人	50.1%
	面倒くさがりやさん	1,710人	868人	50.8%
未経験者	健診受診歴なし・通院歴なし	3,781人	367人	9.7%
	健診受診歴なし・通院歴あり	7,412人	749人	10.1%
	前年度国保加入者	2,593人	641人	24.7%
合 計		19,980人	4,967人	24.9%

## (2) 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施

### ① 受療勧奨プログラム・重症化予防プログラム

40歳以上75歳未満の被保険者に対し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って受療勧奨や保健指導等を行い、早期に医療介入することで糖尿病の重症化を予防します。

#### 【対象者】

特定健診受診結果から下記ア～ウの基準により抽出します。

- ア) HbA1c6.5%以上
- イ) eGFR60ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満
- ウ) 尿たんぱく(+)以上

#### 【実績】

(令和7年6月末時点)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度 (暫定)
受療勧奨のみ (上記アに該当)	該当者	48人	40人	33人
	受療者	26人	11人	7人
	受療率	54.2%	27.5%	21.2%
重症化予防（保健指導） (上記アかつイまたはウに該当)	該当者	7人	10人	5人
	受療者	2人	4人	1人
	受療率	28.5%	40.0%	20.0%

※ 該当となった人について、最長5年間の受療確認と受療勧奨を継続して実施しています。

### ② 治療中断者プログラム

糖尿病治療を中断している可能性がある被保険者に対し、通知による受診勧奨を実施しています。

#### 【対象者】

令和6年6月診療分から令和6年11月診療分までの間に、経口薬や注射薬による糖尿病治療歴がある人のうち、最終の受診から6か月間、医療機関の受診が確認できない人

#### 【実績】

(令和7年6月末時点)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
該当者	15人	11人	7人
受療者	6人	4人	3人
受療率	40.0%	36.4%	42.9%

### (3) 重複・多剤服薬者に対する取り組み

#### 【概要】

同一月に複数の医療機関から同一薬効の薬剤の処方を受けている、または一ヶ月に9剤(※)以上の薬剤の処方を受けている被保険者を対象に「服薬情報のお知らせ」(服薬通知)を送付しました。

このうち、服薬指導が必要だと思われる被保険者には薬剤師等による訪問または電話による指導を実施しました。

※ 令和5年度は10剤、令和4年度は12剤以上

#### 【実績】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
通知者数	409人	593人	796人
うち架電者数	—	115人	73人
うち訪問者数	36人	8人	38人

対象者796人に対し令和6年10月上旬に通知を送付し、特に指導が必要と考えられる73人には電話による服薬指導を、38人には訪問による服薬指導を薬剤師等が実施しました。

	通知対象者数	処方変更の あつた人数	削減薬剤数	削減額	推定削減額 (年間)
令和4年度	409人	223人 (54.5%)	352剤	約180万円	約720万円
令和5年度	593人	313人 (52.8%)	537剤	約30万円	約120万円
令和6年度	796人	401人 (50.4%)	678剤	約40万円	約160万円

効果検証した結果、401人(約50.4%)に処方の変更が見られました。通知前後の3か月で比較すると、数量ベースで678剤、金額ベースで約40万円の削減となり、推定削減金額は年間で160万円以上と考えられます。

### (4) ジェネリック医薬品使用率向上の取り組み

#### 【概要】

ジェネリック医薬品希望カードを新たに国民健康保険に加入した被保険者に配付しています。

ジェネリック医薬品を使用した場合の差額が大きい被保険者に、削減可能額を記載した差額通知を年2回送付しています。

### 【実績】

#### ○差額通知

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
発送件数	1,750件	1,332件	826件
効果額	2,657,837円	1,049,640円	674,811円

※効果額は、保険者負担相当額

#### ○ジェネリック医薬品使用割合（数量シェア）

	令和4年 9月診療分	令和5年 3月診療分	令和5年 9月診療分	令和6年 3月診療分	令和6年 9月診療分
明石市	81.4%	82.0%	82.2%	83.0%	84.2%
兵庫県	79.2%	80.1%	80.9%	81.7%	83.3%

### （5）スマホとスマートウォッチを活用した健康管理支援事業

#### 【概要】

これまで対面での保健指導を敬遠していた層にも生活習慣の改善に関心を持つてもらうため、特定健診の結果で生活習慣病になるリスクが高い人を対象に、スマホとスマートウォッチを活用し、AIからのアドバイスを受けて自分で健康管理を行います。

また、ハイリスク者の生活習慣の改善を図り、糖尿病を含む生活習慣病を予防する取り組みにより医療費の増加を抑えます。

#### 【対象者】

令和5年度特定健診受診者のうち以下のいずれかに該当し、参加を希望する者

- ① 特定保健指導対象者 ② BMIが $25.0\text{kg}/\text{m}^2$ 以上の者

#### 【実績】

参加者43人の各数値の増減（事業開始→終了 比較）

	減少者数	増加者数	平均	最大値	最小値
体重	38人	5人	-2.1kg	-8.9kg	+0.8kg
体脂肪量	34人	9人	-1.5kg	-6.9kg	+1.3kg
筋肉量	27人	16人	-0.3kg	+1.9kg	-3.0kg
歩数	11人	14人	+1,290歩	+8,698歩	-4,709歩

## 2 令和7年度の取り組みについて

各事業については、令和6年度の取り組みを継続して実施します。

4月から6月にかけて実施したスマホとスマートウォッチを活用した健康管理支援事業では、中間及び最終報告会の参集型イベントにおいて、運動講座やベジチェック等を用いた測定会、個別相談を新たに導入し内容を充実させました。